

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月13日
【四半期会計期間】	第70期第3四半期（自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日）
【会社名】	共英製鋼株式会社
【英訳名】	K Y O E I S T E E L L T D .
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 森田 浩二
【本店の所在の場所】	大阪市北区堂島浜一丁目4番16号
【電話番号】	06 - 6346 - 5221（代表）
【事務連絡者氏名】	本社経理部長 北田 正宏
【最寄りの連絡場所】	大阪市北区堂島浜一丁目4番16号
【電話番号】	06 - 6346 - 5221（代表）
【事務連絡者氏名】	本社経理部長 北田 正宏
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第69期 第3四半期連結 累計期間	第70期 第3四半期連結 累計期間	第69期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 4月1日 至平成25年 12月31日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(百万円)	105,491	128,188	142,305
経常利益(百万円)	3,502	1,133	4,673
四半期(当期)純利益(百万円)	1,867	74	2,069
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,864	2,342	3,495
純資産額(百万円)	123,626	129,408	125,257
総資産額(百万円)	162,137	186,878	165,129
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	42.93	1.71	47.59
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	74.8	65.7	74.2

回次	第69期 第3四半期連結 会計期間	第70期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 10月1日 至平成25年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	14.32	5.04

- (注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

(鉄鋼事業)

当第3四半期連結会計期間より、キョウエイ・スチール・ベトナム社は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

なお、キョウエイ・スチール・ベトナム社は当社の特定子会社に該当いたします。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、各種政策の効果が発現する中、景気回復の動きが確かなものとして期待されるようになりました。当社グループの主要需要先である建設用鋼材市場では、期間前半は製品先安感による鋼材購入延期の動きや人員不足による建設・土木工事の遅れ等により製品需要は低調でしたが、8月以降回復に向かい、期間後半は堅調に推移しました。一方、原材料である鉄スクラップの価格は、昨年7月以降急速に上昇し、第3四半期に入ってから当社の想定を上回る水準で推移しました。こうした状況を受け、当社グループでは製品価格の引上げとコスト削減に努めましたが、鉄スクラップ価格の上昇分を全てカバーするには至りませんでした。

これらの結果当社グループの業績は、連結売上高は前年同期対比22,697百万円(21.5%)増収の128,188百万円となりましたが、連結営業利益は前年同期対比2,364百万円(72.1%)減益の915百万円、連結経常利益は同2,368百万円(67.6%)減益の1,133百万円、四半期純利益は同1,793百万円(96.0%)減益の74百万円となりました。

なお当第3四半期より、ベトナム北部に保有する関係会社(キョウエイ・スチール・ベトナム社:KSVC社)について、重要性が増したため非連結子会社から連結子会社に変更しました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

鉄鋼事業

当事業部門については、製品出荷量(国内工場出荷分)は前年同期対比約9万トン増の128万1千トンとなりました。販売価格は前年同期対比トン当たり2.7千円上昇しましたが、鉄スクラップ価格が同トン当たり6.2千円上昇したため、製品と鉄スクラップの売買価格差は前年同期に比ベトン当たり3.4千円縮小しました。

これらの結果、売上高は前年同期対比22,851百万円(22.8%)増収の123,198百万円、営業利益は同2,173百万円(77.0%)減益の649百万円となりました。

環境リサイクル事業

当事業部門については、競合の激化を背景とした前年同期の大口案件分の減少等により、売上高は前年同期対比141百万円(2.9%)減収の4,723百万円、営業利益は同150百万円(14.8%)減益の860百万円となりました。

その他の事業

当事業部門については、子会社を通じて土木資材の販売及び保険代理店業等を行っており、売上高は前年同期対比12百万円(4.4%)減収の268百万円、営業利益は同3百万円(8.8%)減益の29百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産については、前連結会計年度末に比べて21,750百万円(13.2%)増加し、186,878百万円となりました。これは、現金及び預金が11,263百万円、受取手形及び売掛金が7,258百万円、商品及び製品が3,194百万円、建物及び構築物が986百万円、機械装置及び運搬具が1,672百万円、有形固定資産のその他が3,018百万円増加し、有価証券が6,100百万円減少したこと等によります。

負債については、前連結会計年度末に比べて17,599百万円(44.1%)増加し、57,470百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が2,445百万円、短期借入金が6,143百万円、長期借入金7,766百万円増加したこと等によります。

純資産については、前連結会計年度末に比べて4,151百万円(3.3%)増加し、129,408百万円となりました。これは、四半期純利益74百万円、剰余金の配当869百万円、その他有価証券評価差額金の増加1,110百万円、少数株主持分の増加3,816百万円等によります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発費の総額は136百万円であります。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	150,300,000
計	150,300,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	44,898,730	44,898,730	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数100株
計	44,898,730	44,898,730	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数 増減数(株)	発行済株式総数 残高(株)	資本金 増減額 (百万 円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	44,898,730	-	18,516	-	19,362

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,439,300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 43,456,000	434,560	-
単元未満株式	普通株式 3,430	-	-
発行済株式総数	44,898,730	-	-
総株主の議決権	-	434,560	-

(注)「単元未満株式」には、当社所有の自己株式11株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 共英製鋼株式会社	大阪市北区堂島浜一丁目 4 - 16	1,439,300	-	1,439,300	3.21
計	-	1,439,300	-	1,439,300	3.21

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
取締役	常務執行役員 枚方事業所長兼 業務部長	取締役	常務執行役員 枚方事業所長	座古 俊昌	平成25年10月1日

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,923	27,187
受取手形及び売掛金	35,695	42,952
有価証券	14,000	7,900
商品及び製品	12,564	15,758
原材料及び貯蔵品	7,829	8,495
その他	1,970	2,813
貸倒引当金	48	59
流動資産合計	87,933	105,045
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,311	14,297
機械装置及び運搬具(純額)	19,299	20,971
土地	26,748	26,496
その他(純額)	1,171	4,189
有形固定資産合計	60,530	65,954
無形固定資産	1,258	1,186
投資その他の資産		
投資有価証券	13,227	12,023
その他	2,263	2,745
貸倒引当金	83	75
投資その他の資産合計	15,407	14,693
固定資産合計	77,196	81,833
資産合計	165,129	186,878

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,151	18,597
短期借入金	6,041	12,184
1年内返済予定の長期借入金	130	408
未払法人税等	736	137
賞与引当金	636	481
役員賞与引当金	42	7
その他	6,557	7,674
流動負債合計	30,293	39,487
固定負債		
長期借入金	5,047	12,813
繰延税金負債	548	1,252
再評価に係る繰延税金負債	3,492	3,492
退職給付引当金	127	71
役員退職慰労引当金	16	18
その他	347	337
固定負債合計	9,578	17,984
負債合計	39,871	57,470
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,516	18,516
資本剰余金	21,493	21,493
利益剰余金	77,300	75,948
自己株式	1,699	1,699
株主資本合計	115,610	114,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,324	2,434
繰延ヘッジ損益	117	-
土地再評価差額金	5,330	5,330
為替換算調整勘定	135	828
その他の包括利益累計額合計	6,906	8,593
少数株主持分	2,742	6,558
純資産合計	125,257	129,408
負債純資産合計	165,129	186,878

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	105,491	128,188
売上原価	95,542	120,295
売上総利益	9,949	7,893
販売費及び一般管理費	6,669	6,978
営業利益	3,279	915
営業外収益		
受取利息	219	396
受取配当金	116	141
為替差益	42	197
持分法による投資利益	34	-
その他	211	179
営業外収益合計	623	913
営業外費用		
支払利息	349	335
売上割引	29	31
持分法による投資損失	-	304
その他	23	24
営業外費用合計	400	695
経常利益	3,502	1,133
特別利益		
固定資産除売却益	16	21
その他	-	5
特別利益合計	16	26
特別損失		
固定資産除売却損	226	371
投資有価証券売却損	185	-
たな卸資産廃棄損	26	19
その他	29	5
特別損失合計	466	395
税金等調整前四半期純利益	3,052	765
法人税等	1,161	418
少数株主損益調整前四半期純利益	1,891	347
少数株主利益	24	273
四半期純利益	1,867	74

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,891	347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67	1,110
繰延ヘッジ損益	44	117
為替換算調整勘定	4	1,003
持分法適用会社に対する持分相当額	0	-
その他の包括利益合計	27	1,996
四半期包括利益	1,864	2,342
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,842	1,652
少数株主に係る四半期包括利益	22	691

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結会計期間より、キョウエイ・スチール・ベトナム社は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

次の関係会社等について、金融機関からの借入に対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
キョウエイ・スチール・ベトナム社	2,454百万円	-

2 受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形割引高	800百万円	351百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	3,196百万円	3,177百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年4月27日 取締役会	普通株式	653	15	平成24年3月31日	平成24年6月11日	利益剰余金
平成24年10月31日 取締役会	普通株式	218	5	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1．配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （百万円）	1株当たり 配当額 （円）	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年4月30日 取締役会	普通株式	652	15	平成25年3月31日	平成25年6月10日	利益剰余金
平成25年10月31日 取締役会	普通株式	217	5	平成25年9月30 日	平成25年12月10日	利益剰余 金

2．基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	100,347	4,864	280	105,491	-	105,491
セグメント間の内部売上高 又は振替高	126	1,227	-	1,352	1,352	-
計	100,473	6,090	280	106,843	1,352	105,491
セグメント利益	2,822	1,010	32	3,864	585	3,279

(注)1 「セグメント利益」の調整額 585百万円には、セグメント間取引消去15百万円、各報告セグメントに配分
 し
 全社費用 600百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務
 部門等管理部門に係る費用であります。

2 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	123,198	4,723	268	128,188	-	128,188
セグメント間の内部売上高 又は振替高	185	1,500	-	1,685	1,685	-
計	123,383	6,223	268	129,874	1,685	128,188
セグメント利益	649	860	29	1,538	623	915

(注)1 「セグメント利益」の調整額 623百万円には、セグメント間取引消去15百万円、各報告セグメントに配分
し
ていない

全社費用 638百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務
部門等管理部門に係る費用であります。

2 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	42円93銭	1円71銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,867	74
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,867	74
普通株式の期中平均株式数(千株)	43,489	43,459

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年10月31日開催の当社取締役会において、平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、剰余金の配当を次のとおり行うことを決議いたしました。

配当金の総額	217百万円
1株当たりの金額	5円00銭
支払請求の効力発生日及び支払開始日	平成25年12月10日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月13日

共英製鋼株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 土居 正明

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 羽津 隆弘

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている共英製鋼株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、共英製鋼株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。